

平成29年度 第3学年 前期授業アンケート 分析表

現代文B	授業の進度も難易度も上昇しているが、大変意欲的に取り組んでおり頼もしい。評論では現代社会を取り巻く諸問題を深く考えていきたい。また小説や韻文から作者の人間観を考察し、生きることへの眼差し、社会への眼差しを持ち、より深く自らを見つめる機会を増やしたい。
古典B	現代文同様に進度も難易度も上がっているが、全般的に予習、授業、復習のサイクルができ、興味関心も高まっている。教科書掲載の古典作品個々の持つ世界観や人生観を丹念に、丁寧に読み取りながら、古典の持つ力強さを味わえるような広がりのある授業を目指したい。
世界史B	近現代史を扱うようになり、内容がより複雑化している。しかし、生徒の意欲は旺盛で、モチベーションも高い。今後も懇切丁寧な説明に心掛け、「分かる授業。面白い授業」を目指し、日々の授業作りに取り組んでいきたい。
日本史B	アンケート結果によると、授業の難易度は適度であり、興味関心も高く持って取り組んでくれている。単位数から考えると授業進度を現在より速める必要があるが、今の時点で速く感じている生徒も一定数いるため、どう調整していくかが課題である。
地理B	授業の難易度や進度は概ね生徒の実態に合ったものだが、やや難しいと感じている生徒もあり、より理解しやすい授業となるよう工夫したい。また、各国の様子を詳しく扱うなど、学問的な関心が高まるよう工夫を継続したい。
政治・経済	難民問題や国際貿易等、国内外の時事問題にリンクした授業を展開したため、生徒は授業に集中して取り組んでおり、授業の難易度もちょうど良いと回答している。引き続き、知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決にむけて協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅲ	授業の難易度、進度とも適正であり、生徒は概ね意欲的に取り組んでいる。内容の理解に苦労している生徒には、予習・復習を中心とした家庭学習を充実させるよう指導することで、授業の理解を高めさせたい。また、グループ学習も積極的に取り入れたい。
発展数学 ⅠAⅡBα (文系)	授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。授業中の取組の姿勢は概ね良好だが、予習や復習という点には、やや不十分さが見られる。今後この授業は難易度が上がっていくので、学習意欲を持続させる手立てを講じていきたい。
発展数学 ⅠAⅡBβ (文系)	授業の難易度、進度とも生徒の実態に即しており、授業中の取組の姿勢は概ね良好だが、予習や復習という点には、やや不十分さが見られる。今後この授業は難易度が上がっていくので、学習意欲を持続させる手立てを講じていきたい。
発展数学 ⅠAⅡBⅢ (理系)	授業の難易度、進度とも適正であり、生徒たちも概ね理解に努めている。既習事項のまとめとしての問題演習が多く、グループ活動を行う機会は設けにくい、グループ活動によって理解が高まるという生徒も多く、内容によっては機会を増やしたい。
物理	大部分の生徒が集中して取り組んでいる。ただ、授業を「聞く」だけでは理解は深まらない。生徒が自ら考えて学ぶ授業づくりを心がけたい。「わかりやすい＝思考が深まる」ではないので、単にわかりやすい授業ではなく生徒の思考が深まるような授業を展開したい。
化学	生徒の意欲・授業の進捗・レベルなどは良好な意見が多かった。しかし、予習・復習など自己を高めていく学習に進歩していないと感じる。生徒が主体的に学習していく授業を整えながら、学力向上へ結びつけるよう、更に授業進化の必要性を感じる。
実践 化学基礎	授業の難易度やスピードについてはほとんどの生徒が満足しているが、問題演習が中心であり、グループ学習・協同的学習などの実践が不十分である。生徒の主体的な活動を通して化学の内容への関心をもっと高められるような工夫を行っていきたい。
生物	興味関心が高くなった生徒が比較的多くいた反面、もっと科目の内容に触れてみたいと感じる生徒はそれほど多くない。関心だけで終わらず、自ら主体的に学ぼうとする意識をもつような授業展開に努めたい。
実践 生物基礎	授業の進捗や難易度は概ね適切であると判断できる。理解度については若干追いついていない生徒がいるようなので、きめ細かい指導に配慮したい。グループ学習についても、生徒の能動的な活動を取り入れた授業実践を心掛けたい。
実践 地学基礎	進捗、難易度ともに多くの生徒が肯定的に回答している。地学は自然災害や防災など生活に直結した科目である。2年次の学習をより深め、実践的な学問として取り組んでいきたい。また、グループ学習を適切なタイミング、手法で実施し、生徒の理解を進めたい。
コミュニケーション英語Ⅲ	多くの生徒が意欲的に取り組み、理解度も深まった結果、学問のおもしろさを実感できるようになっている。より難易度の高いものを扱いながら、内容と言語を統合して学習し、英語を活用できる授業の実践に努めたい。
英語表現Ⅱ	難易度が上がり、より正確性をあげて表現することが求められる授業であるが、多くの生徒が意欲的に学習に取り組んでいる。ペアワーク・グループワークを適時活用しながら、場面に合った正確な表現ができるよう指導の工夫を続けたい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組んでおり、進捗・難易度についても適正である。3年生は週3回あるため、技能・体力の向上を感じている生徒が多いようである。男女共修選択制授業の充実を図り、生涯体育につながる力を身に付けさせたい。